

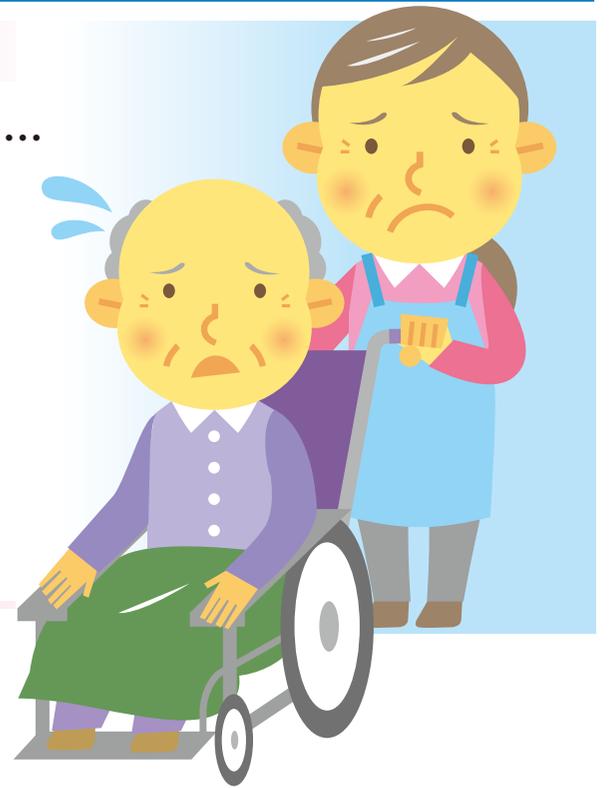
5月議会

市民の納税額は3位 でも福祉を削減する **維新流** 「改革」で……

吹田独自の

老人医療費助成制度が廃止に

民主・公明・自民らが賛成



5月定例市議会が5月11日から6月6日まで開かれました。代表質問は柿原まき議員が行い、個人質問は他の7人が行いました。また、常任委員会等の新しい所属が決まりました。

市民一人当たり納税額

(市民税の所得割税額 H23)

150,505円
府下31市中3位



臨時財政対策債

(H24当初予算発行予定)

0円
府下で吹田市と田尻町のみ



税金に対する借金返済の割合

(H22決算)

標準財政規模(税金や交付金など使途の決まっていない財源)に対する公債費(借金返済額)の比率を家計に置き換えると、吹田市の場合約643億円の財源に対し公債費は約78億円で、年収500万円の家計で月5万円のローン返済を行っている状況。



左の図を見れば吹田市は「非常事態」とは程遠い財政状況であり、市の独自事業を削り吹田市らしさをなくす「行政の維新プロジェクト」による行革は改めるべきです。

今議会では吹田市が1972年から始めた老人医療費助成制度の廃止や、総合福祉会館での重度障害者デイサービス*が当事者に知らされないまま10月から民間委託されることなどが決まりました。日本共産党は高齢者・障害者の命や安全にかかわることを、コストカットだけを理由にすすめる維新流「改革」は認められないと反対しましたが可決されました。

また、職員採用凍結による職員不足を有期雇用で補おうとする「任期付き職員条例」は日本共産党は知識や経験の継承が出来ず市民サービスの悪化をまねくため反対し、多数により否決されました。

懸案となっていた福祉巡回バス「きぼう号」廃止後の代替案については示されませんでした。委員会審議の結果「ニーズ調査」予算が提案され全会一致で可決されました。

*重度障害者デイサービス/1987年総合福祉会館にて高齢者のデイサービスとともに開始。当時は重度障害者を受け入れる事業所がなく、社会参加の道が閉ざされていたものを市が自ら事業を行い受け入れてきた。痰の吸引や胃ろうなどの医療的ケアも行っている。

くらしに負担



会派名(正式名称): 共産党(日本共産党)、公明(公明党)、民主(民主市民連合)、自民(自由民主党の会)、新選(吹田新選会)、自治(すいた市民自治)、ネット(吹田いきいき市民ネットワーク)、みんな(みんなの党吹田)、市ク(すいた市民クラブ)、無ク(無所属クラブ)

	現行制度	変更内容	対象者	影響額	賛否
老人医療費助成制度廃止	65歳~69歳 非課税は3割 →1割に軽減	H25年7月末廃止	1961人	1年間で 2億円のカット	✕: 共産党、みんな、無ク ○: 民主、公明、自民、新選、自治、ネット、市ク
一部負担金相当額等助成制度予算カット	65歳以上で身体障害1~4級またはA、B1 窓口負担1回500円	H25年8月から75歳以上の身体障害3~4級、知的B1は非課税世帯のみに限定	2617人中1284人が対象外に	1年間で 5000万円の カット	
使用料値上げ	体育館・武道館・ 総合運動場・ グラウンド・プール	9月から使用料が1.5倍に。市民プール(温水)250円→350円。中学生は150円	年間延148万人が利用	年間1057万円の負担増	✕: 共産党 ○: 民主、公明、自民、新選、自治、ネット、市ク、無ク、みんな
	市民センター	9月から1.5倍に。	年間延22万人が利用	年間714万円の負担増	
公立幼稚園保育料値上げ	年84,000円	H25年4月から126,000円 1.5倍に。	在籍園児965人	4053万円の負担増	✕: 共産党、みんな、市ク ○: 民主、公明、自民、新選、自治、ネット、無ク
私立幼稚園保護者補助金カット	H25年4月から第2・3子は補助金ゼロに。生保、市民税非課税・所得割7万7100円以下・36万6900円超は減額。小学1~3年生の兄弟がいる場合、所得割21万1200円以下の世帯は補助金ゼロ。その他は増額。		減額は1922人。増額は2302人。変更なし若しくは影響なしが1249人。	4800万円の カット	✕: 共産党、新選、みんな、市ク ○: 公明、民主、自民、自治、ネット、無ク
国保料の引き上げ	H24年度から5年かけて国保会計の収支均衡を図る。 H24年度は6.4%の国保料引き上げ		加入者 8万8800人	3億4465万円の負担増	✕: 共産党 ○: 民主、公明、自民、新選、自治、ネット、市ク、無ク、みんな